

研究テーマ	[造形の広がりを考える] 身近な環境の中にある生活用品のよさや美しさを感じ取り，自分の表現に生かせるような題材の工夫
-------	---

MY 手ぬぐいをつくろう

稲敷郡河内町立河内中学校 教諭 木村 弘美
前任校 阿見町立朝日中学校での実践

1 研究テーマについて

中学校で美術を学ぶ理由として，形や色を通して表現したり，作品のよさを読み取ったりできる力の獲得が挙げられる。即ちビジュアルコミュニケーションの力である。国際社会においても造形によるコミュニケーションを意図的に扱う能力が求められている。

今回の学習指導要領で新たに加えられた [共通事項] は，形や色彩などがもたらす視覚的効果，及びそれらが生み出すイメージを意図的に扱い，生きていく上で必要な能力として身につけようとするものである。内容は「ア 形や色彩，材料，光などの性質やそれらがもたらす感情を理解すること。」「イ 形や色彩の特徴などをもとに，対象のイメージをとらえること。」となっている。[共通事項] は，表現の活動や鑑賞の活動を通して意識させながら指導をしていかなければならない。

そこで鑑賞活動と表現活動を関連づけて行う題材として，「日本手ぬぐい」を題材として取り上げ，身近な環境の中にある生活用品のよさを感じ取り，自分の表現に生かせるような指導をしていきたい。

2 実践例

(1) 題材名 「My 手ぬぐいをつくろう」

(2) 題材の目標

日本手ぬぐいの歴史やさまざまな使い方について考え，工夫によって生活が潤い，楽しいものになることに気づき，自分でデザインした模様を型染めする楽しさを味わう。

(3) 題材について

日本手ぬぐいは，昔から日本人の身のまわりにあり，汗や手をふいたり，ものを包んだり，頭にかぶったりと多様な使われ方をされてきた。日本手ぬぐいを鑑賞することで折り畳んでもかさばらず，吸水もよく乾燥しやすいという機能性ばかりでなく，さまざまな模様や色彩がつけられ，生活に潤いをもたらす，日本人の目を楽しませてきたことを感じとらせたい。昔から引き継がれてきた日本人の知恵に気づかせた上で，表現したい絵柄を単純化し，手ぬぐいの中に工夫してレイアウトするおもしろさや型染めの楽しさを味わわせたい。

(4) 題材の評価規準

美術への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
身のまわりにある日本手ぬぐいを再確認し、生活の中の美術に興味を持つようとしている。	小紋柄の条件を理解し、単純化した模様デザインし、布の中にレイアウトを工夫しようとしている。	カッターで型を切り、布地にていねいに模様を染めようとしている。	日本手ぬぐいの歴史をやさざまな用途について考え、創意工夫によって生活が潤うことを感じ取っている。

(5) 指導と評価の計画 (8時間扱い)

時間	学習内容・活動	評価基準・【評価方法】
第1次 ①	・日本手ぬぐいの歴史や用途を調べて話し合い、昔の日本人の知恵や心に触れる。	・身のまわりにある日本手ぬぐいの歴史や模様について、調べ学習を行い、興味をもとうとしている。 関【観察・ワークシート】
第2次 ②	・小紋柄のもととなる単純な形をデザインする。 ・自分の夢を形に表す工夫をする。 (本時はその1時)	・小紋柄の条件を理解し、連続したときの効果を考えながら、単純な形をデザインしようとしている。 ・形に意味づけをしながら、デザインしている。 想【観察・ワークシート】
第3次 ①	・ステンシルシートを用いて、デザインした形の型をつくる。	・デザインした形をステンシルシートに写して、カッターでていねいに型を切り抜いている。 技【観察・ステンシルシート】
第4次 ③	・ステンシル絵の具と筆を使って布を型染めしていく。	・むらなくていねいに型染めしている。 関【観察・布】 ・布の中に工夫しながらレイアウトして染め、効果的な連続模様を表そうとしている。 想【観察・布】
第5次 ①	・My 手ぬぐいの鑑賞会を行う。	・相互鑑賞を行い、手ぬぐいとしてのデザインのよさを言葉に表している。 関【作品・ワークシート】

3 本時の展開

◇目 標 小紋柄のもととなる、単純な形を考え表現することができる。

◇準備・資料 手ぬぐいの参考資料 ワークシート ステンシルシート
カッター カッター台

◇展 開

学 習 活 動・内 容	指導上の留意点・評価 ○発問
<p>1 学習内容を知る。</p> <div data-bbox="261 595 703 730" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>小紋柄のもととなる単純な形をデザインしよう。</p> </div> <p>2 デザインの条件を確認する。</p> <p>(1) 形を連続したときの効果を考える。</p> <p>(2) 形を2, 3個使ってもよい。</p> <p>(3) 染色は単色で行う。</p> <p>3 デザインを考える。</p> <div data-bbox="746 1536 1347 1671" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発 小紋柄のもととなる単純な形をデザインしようとしている。(観察・ワークシート)</p> </div> <p>4 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を知る。</p>	<p>○前時に学習した小紋柄について復習しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さい柄が規則的に並んだもの、または散りばめられたものであることを確認する。 ・作品完成までの学習の流れを説明し、計画的に作業を進められるようにする。 <p>○夢や希望を形に表してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインの条件が視覚でも分かりやすい参考見本の手ぬぐいを数多く掲示し、意欲を高める。 ・伝統的な手ぬぐいでは、絵柄によって意味を表していることを確認する。 ・イメージが浮かびやすいように、染め型の見本を黒板に掲示しておく。 <ul style="list-style-type: none"> ・早くイメージが浮かんだ生徒には、他のデザインも考えてみるように助言する。 ・デザインが決定した生徒には、「型」の試作をするよう促す。 ・生徒同士が互いのよさを認めたり、教え合えるような場を設定する。 <div data-bbox="746 1693 1347 1827" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインが決まらない生徒には、幾何学形などの単純な形でよいことを助言し、ヒントカードを提示し、活動の手助けをする。 ・生徒のよいデザインを紹介し、次時の意欲につなげる。 </div>

4 成果と課題

【成果】

3年生の2学期の授業ということ
で、進路に向けての願いや希望をテ
ーマにデザインを考えるように提案
したところ、それぞれの思いを表現
しようと努力する生徒が多かった。

ウサギと弓の形を組み合わせ、
志望校に「う(兎)・かる(狩る)」
というデザインを考えた生徒、「五
角形 = 合格」に置き換え、自分の
気持ちを表現した生徒がいた。

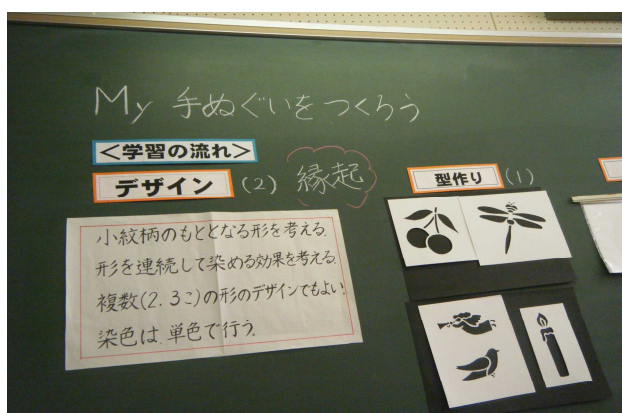
また、合格祈願の思いを込めて縁
起のよい「蝶」と「梅」の形をモチ
ーフにデザインを考え、青色(幸せ
の青い鳥のイメージ)で染色をした
生徒もいた。

アイデアが浮かばず、デザインが
なかなか決まらない生徒も少なくな
かったが、条件にこだわらずに自分
の好きな形や文字などをモチーフに
考えるよう助言した。また○△□な
どの形を大小複数用意しておき、そ
れらを染色用の布の上に並べさせて
みた。組み合わせたり繰り返したり
することでデザインのイメージをま
とめることができた。

デザインが決定したことで、型作
り・染色の作業に進み、全員が個性
的な手ぬぐいを完成させることがで
きた。

本題材では、鑑賞活動として日本
手ぬぐいについての調べ学習を行い、
関心意欲を高めるようにした。手ぬ
ぐいの歴史や、模様の意味を知るこ
とより、形の面白さや美しさを積極
的に見だし、形に意味を持たせて、
自分なりの世界を作ろうとする生徒
が多く見られた。

《 授業の様子 》



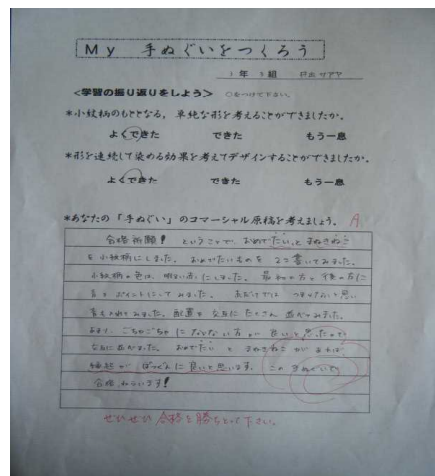
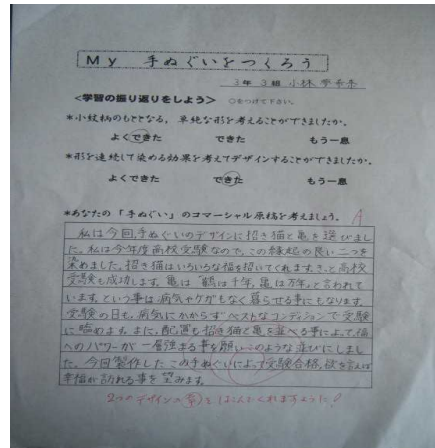
【課題】

学習の目標は「小紋柄のもととなる、単純な形を考え表現することができる」であったが、どうしても単純な形をイメージ出来ない生徒がいた。本題材では、デザインした形を切り抜いて型染めをして手ぬぐいを完成させたのだが、○△■などの形の繰り返しのみで、形を楽しむまでに至らなかった。中学生にふさわしいヒントになるもの（型紙やヒントカード）を工夫して用意してもよかったと感じた。

ステンシルシートで型をつくる過程では、切り抜く部分と切り残さなくてはならない部分が理解できずに、形が繋がってしまった生徒が少なくなかった。型の見本を数点用意して、説明の時間を設けたが、デザインが決定した段階で切り抜く部分を個別に確認しておくことが必要であったと思う。

また、自分なりの発想を手ぬぐいに表現するためには、カッターを上手く使いこなす技能を日頃から身につけていくことが必要だと感じた。

《 振り返りカード 》



《 作品 》

